

DAIDO CAMPUS

No.99 2020.04



2020年度入学式は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止となりました。

新入生への学長告辞

本年は、「令和」最初の入学式を挙行する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、みなさんの健康を第一に考え入学式を中止するという苦渋の決断を行いました。

本来ならば、入学生の皆さんを前に伝えるところですが、ここに、工学部515名、情報学部313名、大学院工学研究科修士課程20名、大学院情報学研究科修士課程2名の入学を許可することを宣言します。

大同大学へ入学された皆さん、大学院修士課程へ入学された皆さん、入学おめでとうございます。

そして、今まで入学生を育んでこられたご家族、関係者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

さて、大同大学の理念は実学主義です。「実学」とは、実際にものを見たり、触れたり、作ったりすることです。もちろん、理論をおろそかにすることではありませんが、「実学」はもの作りの原点です。大同大学は五十年以上にわたり実学の教育と研究を通じて産業と社会に貢献することを理念としてまいりました。

ここで大同大学の歴史に少し触れたいと思います。大同大学は、中部産業界の要請を受け、大同学園が五十六年前に設置した大学です。五十六年前の日本は第二次世界大戦後の復興期であり、技術者が極端に不足していました。そのような背景のもと、中部電力、名鉄などの中部を代表する企業の御支援を頂き、さらに現在の大同特殊鋼の前身である大同製鋼から土地と建物の大部分をご寄付頂き、大同工業大学が誕生しました。そして、2009年に大同工業大学から大同大学へと校名を変えました。

学歌は大学の校歌に相当するものです。大同大学の学歌は、昭和初期の新興俳句の指導的存在であり、現代俳句を牽引した山口誓子の作詞です。最初の歌詞は、「木曽の流れは、長くして、電力を生み、製鋼と学校起る」です。木曽の流れとは木曽川のこと、かつて、木曽川の流域に多くの水力発電所が建設され、この電力を使った産業が興ったことを意味しています。

この歌詞の中にあるのが大同電力で、大同学園を設立した大同製鋼のルーツです。

大同電力を築いた人は、1万円札に描かれている福沢諭吉の娘婿である福沢桃介です。福沢桃介は、木曽川流域の

電力会社を統合し、新しい発電所をつくり、大同團結の趣旨を生かすため「大同電力」をつくりました。これが大同大学の「大同」の由来です。大同電力は後に中部電力、関西電力、大同製鋼など多くの企業に分かれました。

大同大学は、

- 社会人として活動するために必要な能力を身につけている
- 豊かな教養を身につけている
- 確かな専門性を身につけている
- 豊かな想像力を身につけている

以上の四つを学位授与の方針としています。

大学生活は、高校生までの学生生活と社会に出るまでの間の、人生で最も貴重な時間であるといえるでしょう。

高校生よりも自由がありますが、大人としての責任もあります。しかし、社会に出てからでは体験できない、時間や利益に縛られない、自分の考えで有意義な生活が送れます。

大学生活で、勉学やスポーツ、趣味などいろいろな努力をし、経験したことは社会に出てからの貴重な財産となります。

大同大学は、そのような財産を築く皆さんのために、最大限の援助を行ないます。

また、どのようなものでも最も重要なものは基礎です。土台が頑丈でなければ、その上に高く積み上げることは不可能です。

勉学も同様です。最先端の技術や研究も、それを支えているのは土台となる基礎学問です。基礎学力に不安を覚えた時は、教育開発・学習支援センターに積極的に相談に行ってください。

一方、学生生活に不安がある場合、指導教員に相談に行ってください。相談にいけばアドバイスを惜しません。強化クラブはもちろんのことクラブ活動も活発です。入りたい部活がなければ自分で作ってください。趣味に没頭するのも良いでしょう。何事も前向きに挑戦してください。

これから、さらなる情報社会の進展にともない、社会は大きな変革の時期に入ります。また、グローバル化はますます進むでしょう。そのような社会の変革に対応できるように、自分自身を磨いてください。

皆さんが大同大学で、貴重な実りある大学生活をおくることを心から願っています。

私たち教職員と在学生は皆さんを心から歓迎致します。

令和二年四月一日
大同大学長 神保 瞳子

増田友規さん(大学院 情報学研究科 修士課程) 令和元年度電気・電子・情報関係学会 東海支部連合大会にて 電気学会B賞を受賞しました!

2019年9月9日(月)、10日(火)に大同大学にて、「令和元年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会」が開催され、本学 情報学研究科 修士課程 不破研究室 1年の増田友規さんの論文「計測不可能な入力の推定機能をもつ状態推定系の安定化に関する一考察」が、「電気学会B賞」に選定されました。



▲表彰を受ける増田さん

本内容は、推定系の安定化と補償器のハイゲイン化を同時に達成する推定器の設計法を提案しています。推定器の特性方程式の解に設計パラメータが陽に含まれることを明らかにして、推定系の極配置が可能な定式化に成功している点が特徴であり、外乱等の推定性能の向上に大きく貢献できるものと考えられています。

今回の選定にあたり表彰式及び懇親会は、下記の通り執り行われました。

日時:2020年1月22日(水)17:30~19:30

会場:ホテルルブラン王山 B1階「かきつばた」

(名古屋市千種区覚王山通8-18)

大杉憲由さん(総合情報学科 経営情報専攻) 大同大学奨励賞 授与式を行いました



▲授与式の様子(左から2番目が大杉さん)

2019年11月5日(火)学長室にて、奨励賞 授与式が行われました。奨励賞は研究活動において、特に顕著な業績をおさめたものなど、本学の名誉を高める模範的な行為として認められ、学科または学生部が推薦する学生が対象となります。

今回は、経営情報専攻 3年でハンドボール部の大杉憲由さんに奨励賞が贈されました。大杉さんは、ハンドボール男子日本代表U19のアナリストとして選出され、2019年8月に北マケドニア共和国で行われた第8回ハンドボール男子ユース世界選手権へ参加しました。チームは参加24チーム中9位と健闘し、大杉さんもチームの躍進に貢献しました。

大杉さんは受賞に際し「高校2年の時に大きな怪我をしてハンドボール選手としての道を諦めることになりましたが、高校時の監督と今の監督(大同大学男子ハンドボール部佐藤監督)には選手でなくともチームに貢献できる場へ導いて頂き、心から感謝しています。多くの方のサポートがあればこそ、今の自分があることを常に忘れず精進したいです。まずは来年行われるハンドボールU21アジア選手権を目指す日本代表チームのアナリストとして選ばれるよう頑張ります」とコメントしました。

関連記事はこちら

[https://www.daido-news.jp/
daido_news/student/u19.html](https://www.daido-news.jp/daido_news/student/u19.html)



東美里さん、伊藤泉帆さん、伊藤修平さん、 小澤茂樹教授(総合情報学科 経営情報専攻) ラグビーワールドカップ2019 日本大会のボランティアを務めました

多くの感動を生んだラグビーワールドカップ2019日本大会に、本学の学生と教員が公式ボランティアとして参加し、大会運営を支えました。



▲左から、ボランティアとして活躍した伊藤修平さん、東さん、伊藤泉帆さん、小澤教授さん、伊藤泉帆さん、伊藤修平さんの3名と小澤教授です。

3名は小澤教授のゼミ生で、昨年の4月から開始されたいつも研修を経て、公式ボランティアとして活動しました。ゼミ内で他に応募した学生もいましたが、抽選などの理由により最終的に採用されたのはこの3名と小澤教授のみとなりました。

周到に準備された研修を経て、東さんと伊藤泉帆さんは試合会場となった豊田スタジアムまでの道案内を、伊藤修平さんはファンゾーンと呼ばれるパブリックビューイング会場となった豊田スカイホール内での案内役を務めました。小澤教授は海外からのファンが行きかうJR名古屋駅の案内所のリーダーを務めました。

4名はそれぞれ以下のように感想を話してくれました。

東さん:「当初はとりあえず誘われたからやってみるか、という軽い気持ちでしたが、外国からのお客様の道案内をしたり、大会を盛り上げるムードの一端を担えたことに誇りを持てるようになりました」

伊藤修平さん:「微力ではあったけれど、ラグビー熱の盛り上がりを現場で支えている実感を持てたことがうれしい」

伊藤泉帆さん:「暑かったり、思いのほか退屈な時もあったり、このために多くの時間も割きましたが、たくさんの人と触れ合い、ポジティブな気持ちを共感できたことは今後の財産になると思います」

小澤教授:「今大会にボランティアとして参加した人は、皆さん心にゆとりがあり、運営する一員として参加することに喜びを感じ、幸せそうに見えた。このような感覚を多くの学生たちと共有していきたい」

広瀬陽介さん(建築学科 土木・環境専攻) まちづくり交流会で パネリストを務めました

南医療生活協同組合が主催する『第10回まちづくり交流会』にて、建築学科 土木・環境専攻 4年の広瀬陽介さんが登壇し、事例報告とシンポジウムのパネリストを務めました。

当交流会は、まちづくりについて学び・交流することを目的に年1回開催されており、今回は福祉・企業・学生の視点からまちづくりの取組みを紹介しました。

広瀬さんは『高齢者の移動手段を考える～電動車椅子のシェアリングが広がるまち』と題して、卒業研究で実施している電動車椅子の走行性を調査した道路評価や、実証実験で得られた利用者ニーズと効用について紹介しました。これまでの交流会では学生が登壇したことがなかったようですが、216名の来場者の前で堂々と発言しました。



◆まちづくり交流会の様子

建築 受賞ラッシュ! Congratulations!

D

A

D

O

2019年度は建築学科建築専攻・インテリアデザイン専攻ならびに

大学院工学研究科 建築学専攻の学生によるコンペでの受賞が相次ぎました!

前号で紹介した「愛知建築士会学生コンペ2019〈情の建築〉」にて優秀賞を受賞した永田凌将さんと

佳作を受賞した杉本尚樹さん、常盤亮介さんはこの業績が認められ、大同大学奨励賞を受賞しています。

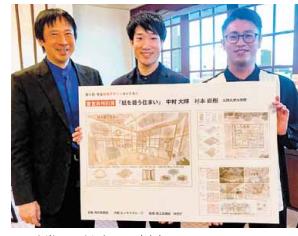
中村大輝さん、杉本尚樹さん(大学院 工学研究科 建築学専攻)

「第5回 学生住宅デザインコンテスト」にて審査員特別賞に選出されました

毎日新聞社が主催する「学生住宅デザインコンテスト」は、建築業界を目指す学生を対象に、建築界の未来を担う人材の育成・支援を目的として開催されており、住宅の基本となる木造の技術に、学生ならではの豊かな創造力を組み合わせ、新しい住まいの形の提案を呼びかけるものです。

第5回目となる今回は、全国の学生から161点の応募があり、2019年9月27日(金)に審査会が行われ、審査委員長の手塚貴晴さん他、4名の審査員による厳正な審査の結果、グランプリ1点、準グランプリ1点、HINOKIYA賞1点、優秀賞3点、審査員特別賞3点、入選6点の受賞者が決定し、大学院 工学研究科 修士課程 建築

学専攻 1年 武藤隆研究室 杉本尚樹さん、同1年 宇野亨研究室 中村大輝さんが審査員特別賞に選出されました。10月18日(金)に結果発表が、11月17日(日)に表彰式が行われました。また、中村さんと杉本さんはこの業績が認められ、大同大学奨励賞を受賞しました。



▲受賞した杉本さん(右)、中村さん(中央)



第5回 学生住宅デザインコンテスト結果のHP

<http://www.mainichi-j-contest.jp/result.html>

上村哲也さん(大学院 工学研究科 建築学専攻)

「とちぎ建築プロジェクト 2019 マロニエ BIM 設計コンペティション」 にて、優秀賞(日本建築士事務所協会 連合会会長賞)に選出されました

「とちぎ建築プロジェクト・マロニエ BIM 設計コンペティション」は、栃木県建築士事務所協会が全国組織である日本建築士事務所協会連合会と共に開催され、今回からは応募資格を今までの学生だけでなく、社会人にも拡大して開催されました。

このコンペは、これまででも2次元ドローイングベースではなく3次元のデータで審査が行われることに特徴があり、学生がBIMを使って短期間でデザインを生み出す能力を奨励されており、今回の設計課題は「宇都宮市森林公園サイクルロードセンター」でした。

2019年11月19日(火)に1次審査が、11月26日(火)に最終審査と表彰式が行われ、審査委員長のヨコミゾマコト氏他、4名の審査員による厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞5点の受賞者が決定し、本学大学院 工学研究科 修士課程 建築学専攻 2年 武藤隆研究室 上村哲也さんが優秀賞(日本建築士事務所



協会連合会会長賞)に選出されました。また、上村さんはこの業績が認められ、大同大学奨励賞を受賞しました。

◀授賞式の様子
(前列左から2番目が上村さん)



▲上村さんの入賞作品

中村大輝さん(大学院 工学研究科 建築学専攻)

「2019第2回アサヒグローバル 学生設計コンペティション」にて 大賞に選出されました!



▲大賞を受賞した中村さんの作品

アサヒグローバル株式会社が主催する「2019第2回アサヒグローバル学生設計コンペティション」にて、本学大学院 工学研究科 修士課程 建築学専攻 1年

宇野亨研究室の中村大輝さんが大賞に選出されました!

「2019第2回アサヒグローバル学生設計コンペティション」は、「100年先に都市資産となる未来煉瓦づくりの家」をテーマとし、「これまでの煉瓦」の有り様を継承しつつ、「これからのか煉瓦」の可能性を問うものです。経年が風合いを生むというメリットをもつ一方で、耐震性や施工性等に対するデメリットがあり、日本では、住宅に煉瓦を用いることは数多くありませんでしたが、そのデメリットを払拭する技術を備え、新たな風景をつくりだすデザインを持つこと、そして、100年先の都市の資産となる提案を求めるというものです。

第2回目となる今回は、全国の学生からの多数の応募があり、1次書類審査を経て、2019年12月14日(土)に2次公開プレゼンテーション審査が行われ、審査委員長の手塚貴晴さん他、4名の審査員による厳正な審査の結果、大賞1点、優秀賞3点、審査員特別賞1点、アサヒグローバル賞3点、佳作5点の受賞者が決定し、中村さんが見事大賞に選出されました。

2019第2回アサヒグローバル 学生設計コンペティションの大会結果HP

<https://asahigloval-competition.com/result/>



中村大輝さん、永田嶺将さん、杉本尚樹さん
(大学院 工学研究科 建築学専攻)

「第8回大東建託賃貸住宅コンペ」 にて入選しました!

大東建託株式会社が主催する「第8回大東建託賃貸住宅コンペ」にて、本学大学院工学研究科修士課程 建築学専攻1年 宇野亨研究室 中村大輝さん、同1年 宇野亨研究室 永田嶺将さん、同1年 武藤隆研究室 杉本尚樹さんの共同制作作品が入選しました。

大東建託株式会社では、2012年から「賃貸住宅コンペ」を開催し、賃貸住宅の新たなかたちの提案を求めてきました。第1回～第5回はアイデアをベースとし、さまざまな示唆に富む多くの提案から、賃貸住宅の考え方を議論してきました。

今回の、第8回大東建託賃貸住宅コンペ学生部門には、全国の学生から183点(応募登録329件)の応募があり、去る1月15日(水)に審査委員長の千葉学さん他、5名の審査員による学生部門の1次審査会が行われ、1次審査通過3組、入選4点が決定しました。

3月8日(日)には東京国際フォーラムにて公開2次審査会が行われ、1次審査通過3組のプレゼンテーションの後、審査委員による質疑応答、公開審査を経て、最優秀賞1点、優秀賞1点、佳作1点が決定。また、同時に表彰式も行われました。

第8回大東建託賃貸住宅コンペ学生部門 結果のHP
https://japan-architect.co.jp/kentaku/result/result1st2_gakusei.html



▲3人の共同作品「地域と共存する移住賃貸モデル」

太田寛和さん(建築学科インテリアデザイン専攻)

「CIP学生賞」に卒業設計作品 「うなぎのぼり 一色町養鰻再編計画」 が選出されました!



3月19日(木)、中部インテリアプランナー協会(CIP)が主催する「CIP学生賞」に建築学科インテリアデザイン専攻 武藤隆研究室 4年 太田寛和さんの卒業設計作品「うなぎのぼり 一色町養鰻再編計画」が選出されました!

CIP賞は中部インテリアプランナー協会が主催する、おもに中部地域の学生の卒業設計作品を対象としたものです。

今回のCIP学生賞受賞作品は、2020年5月発刊予定の「CIP情報誌」に掲載され、2020年6月開催予定のCIP通常定期総会の会場内にて作品パネルとともに発表されます。

中部インテリアプランナー協会
<http://www.chubu-ip.com>



岩見奈来さん(建築学科 かおりデザイン専攻)

日本官能評価学会2019年大会で ポスター発表しました

かおりデザイン専攻 4年の岩見奈来さんが、2019年11月17日(日)に東京家政大学で開催された日本官能評価学会2019年大会にてポスター発表しました。

発表概要は以下の通りです。

発表タイトル:

「レモンの主要香気成分と色彩が食欲等の生理感覚に及ぼす影響」

発表内容:環境の評価においては、一感覚だけでなく様々な感覚によって評価が行われている。本研究ではこの

ような複合影響について、おいしさと色彩に着目し、生理評価における影響を検討した。また本研究では、飲食をする空間の空気環境は「おいしさ」に大きく影響するため、環境フレグランスとして香りを用いることで「食欲」などにどのような影響を及ぼすか把握することを目的とし、レモンの主要香気成分をフレグランスとして提示した。その結果、パーテーションと紙コップが共に黄色の場合、香りを強く感じることが分かった。また、他の色彩よりもリラックスできることが確認された。

一般社団法人 日本官能評価学会

<https://www.jsse.net/>



▲発表者の岩見さん



水谷祐介さん、浅井浩さん

(情報デザイン学科メディアデザイン専攻)

第3回UVインクジェットデザイン コンテスト2019にて受賞しました



▲グランプリを受賞した水谷さんの作品

第3回UVインクジェットデザインコンテスト2019において、情報デザイン学科メディアデザイン専攻 高木研究室 4年 水谷祐介さんが見事グランプリを獲得しました。水谷さんはグランプリと平和紙業賞のダブル受賞となりました。また、同じく高木研究室4年 浅井浩さんが同コンテストにおいて土橋賞と古川賞をダブル受賞しました。

UVインクジェットコンテストは、クリエイティブ分野を志す学生に今後のクリエイティブ活動や表現の幅を広げるための機会を提供するために、株式会社伊藤美術社製版所および株式会社アイビーネットが主催する学生を対象としたデザインコンテストです。

一次審査通過者は、クリエイターと一緒にワークショップ形式で実際に作品を制作します。今回は、自分の大切な空間を照らす「アカリ」をデザインする『私の○○』という作品テーマのもと、デザインが募集されました。審査員長として株式会社電通中部支社クリエイティブディレクター土橋通仁氏をお招きし、その他にも中部地区で活躍するクリエイターの方々が審査にあたり、二人の作品は大変高く評価されました。

山根和也さん、加藤正都さん、横井崇史さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)藤井啓輔さん、松岡尚也さん(機械工学科) 「第10回トライボロジー秋の学校 in 愛知」でポスター発表しました

2019年10月10日(木)、11日(金)に、あいち健康プラザで開催された「第10回トライボロジー秋の学校 in 愛知 一集まれ!若きトライボロジスト!」において、本学の学生5名がポスター発表を行いました。

このイベントは、若手トライボロジストが一堂に会し議論および知見を深め、若手同士による刺激授受の場の提供を目的としています。参加者同士の交流を促進するため、研究成果発表、企業技術展示、先輩トライボロジストによる話題提供を設けられています。本学からは、大学院工学研究科 機械工学専攻 宮本研究室 修士2年 山根和也さん、同修士 1年 加藤正都さん、同修士 1年 横井崇史さん、機械工学科 坪井研究室 4年 藤井啓輔さん、同4年 松岡尚也さんがポスター発表をしました。

[第10回トライボロジー秋の学校 in 愛知のサイトはこちら](https://www.tribology.jp/conference/autumn/aichi10/index.html) <https://www.tribology.jp/conference/autumn/aichi10/index.html>

中川真佑さん(フィギュアスケート部)

第49回中部学生氷上競技大会 ジュニア選手権クラスで優勝しました!

2019年11月2日(土)、3日(日)に邦和スポーツランドにて行われた第49回中部学生氷上競技大会にて、本学フィギュアスケート部 4年 中川真佑さんが、ジュニア選手権クラスで優勝しました!

中川さんは大会前からこの試合で引退することを決めており、13年間の競技人生で最後の試合となりました。

集大成として全てを出し切るつもりで臨んだ演技は見事ノーミスでフィニッシュ。演技後、関係者に祝福され、涙の優勝となりました。



▲優勝した中川さん

中川さんは「大学入学以来、大会で優勝したことがなかったですし、練習でもノーミスで終えられることはほとんどないので、最後をこのような形で締めくくることができて本当に嬉しいです。自分の納得いく演技が出来たことに、様々な形で応援してくださった大学の関係者をはじめ、皆さんに感謝したいです。春から社会人となりますが、今も続けているスケート教室のインストラクターは今後も続けていく予定です。競技を続ける中で辛いこともありましたが、続けてきて本当に良かったです」とコメントしました。

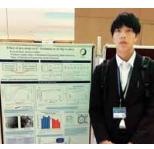
井俣竜士さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

国際学会で発表しました

2019年12月15日(日)~17日(火)にインドのアフマダバード市で開催された、国際学会 FiMPART (Frontiers in Material, Processing, Applications, Research and Technology)にて、本学大学院工学研究科修士課程 高田研究室 2年 井俣竜士さんが、ポスターセッションで発表を行いました。講演タイトルは“Effect of pre-strain on precipitation in Al-Mg-Si alloy”です。

発表では、Al-Mg-Si合金にてひずみを加えた場合、金属結晶のひずみ(転位)の上にMg-Siの化合物が形成されることで、合金の強度が決定する現象を報告しました。

なお、本研究は名古屋大学でのナノテクプラットフォームの支援を受けており、同大学の超高圧電子顕微鏡で観察された写真を報告しました。



▲発表した井俣さん

それぞれの講演タイトルは以下の通りです。

山根さん:電子ビームによって生成されたプラズマを用いた鋼の加速電圧が窒化層および表面性状に与える影響

加藤さん:クロムモリブデン鋼の電子ビーム励起プラズマ窒化処理におけるガス比の影響

横井さん:光輝窒化処理におけるバイアス電圧がトライボロジー特性に与える影響

藤井さん:境界・混合潤滑状態における摺動表面のマイクロディンプルの変形の影響についての数値的研究

松岡さん:混合潤滑下における摺動表面のマイクロディンプルに発生する流体動圧についての数値的研究



齊藤哲雄さん(情報システム学科)

(株)NTTデータ数理システムより 学生奨励賞 優秀賞を受賞しました

株式会社NTTデータ数理システム(NTTData)が主催している、2019年度 Visual R Platform 学生研究奨励賞で、情報システム学科 柴田研究室 4年の齊藤哲雄さんが優秀賞に選ばされました。

齊藤さんは論文「変数選択によるメタ特徴を用いた需要予測に関する研究」を発表し、受賞に至りました。齊藤さんは受賞コメントとして、「この度は優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございます。VMS、VRPでは、簡単な操作で多様な分析ツールを使用でき、スムーズに研究を進めることができました。このような機会をいただきました株式会社NTTデータ数理システムの皆様と日頃よりご指導くださいました柴田慎一先生に心より感謝申し上げます」と述べています。

2019年度 Visual R Platform

学生研究奨励賞の結果

<https://www.msi.co.jp/vrp/student/stu19result.html>



情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻

椅子の展示会「The Chairs ver.15」 に出展・参加しました

2019年11月に名古屋市市政資料館で開催された「The Chairs ver.15」に情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻の舟橋慶祐准教授と、3年 青山健太郎さん、浅井美沙さん、伊藤慎也さん、古口善浩さん、福島優華さん、2年 大上瑛慎さん、宮崎佑奏さんの7名の学生が参加しました。「The Chairs」は、20年以上継続する歴史ある椅子の展示会です。展示期間中に来場者投票によって学生作品の賞を決めるイベントがあり、他大学の作品を合わせた全15作品から、青山健太郎さんが一位、宮崎佑奏さんが二位を受賞しました。

The Chairsの詳細はこちら

<http://thechairs.jp/>



▲展示会の様子

吉川慎平さん(大学院 工学研究科 材料・環境工学専攻) 2019年度博士論文審査に係る 公開講演会で発表しました

2月6日(木)に本学で行われた博士論文審査に係る公開講演会にて、大学院 工学研究科 博士後期課程 材料・環境工学専攻の吉川慎平さんが発表しました。

博士論文のタイトルは「流域総合管理に資する電気伝導率を指標とした効率的な河川・流域の調査手法に関する研究」です。

河川の健全な水循環や流域の総合的管理を実現するには、低成本で簡便かつ迅速に、流域の水循環を水収支、物質収支という形で定量化する調査スキームの開発が必要です。

これらを背景に、本論文では電気伝導率を利用した調査スキームを取りまとめるとともに、環境水の電気伝導率測定値を相対評価するための全国版データベースの整備を試行し、全国的な電気伝導率データの実態を明らかにしています。



▲発表する吉川さん

本論文内の調査事例は土木学会 河川技術論文集に掲載され、その成果を環境把握手法として発表を行った応用生態工学会全国大会では最優秀ポスター賞を受賞し、高い評価を受けています。

浅井優祐さん、木村優太さん(情報システム学科) 第2回東海地区音声関連研究室 卒業研究中間発表会にて 優秀発表賞を受賞しました

2019年12月21日(土)に名城大学にて開催された第2回東海地区音声関連研究室卒業論文中間発表会において、情報システム学科 宮島研究室 4年の浅井優祐さんと木村優太さんが、卒業研究テーマ「識別器の階層化と統合に基づく周辺車両認識」について研究発表を行い、優秀発表賞を受賞しました。

浅井さんと木村さんは、ドライブレコーダなどで記録された車載カメラ映像に映る周辺車両の車種をディープラーニングを用いて認識する研究を行っており、認識誤りを起こしやすいよく似た車種の識別器を階層化するとともに、車種、色、エンブレムの3種類の識別器を統合することで、車種認識性能を向上させる手法を提案し、その研究成果について、概要講演とポスターにて発表しました。

本発表会は、音声情報処理やその他関連研究を行っている東海地区の研究室が集まり開催しており、今年度は、公立・私立計6大学の4年生64名が研究発表を行いました。来年度は本学にて開催する予定です。



▲受賞した浅井さん(右)と木村さん(左)

杉原拓実さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻) Particles 2019に参加し 口頭発表を行いました



▲会場の様子(左)と発表後の杉原さん

2019年10月28日(月)～30日(水)にスペイン バルセロナのカタルーニャ工科大学で開催された「Particles 2019」に大学院 工学研究科 機械工学専攻 前田安郭研究室 1年 杉原拓実さんが参加し、口頭発表しました。

「Particles 2019」の正式名称は「VI International Conference of Particle-Based Method. Fundamentals and Applications」となっており、和訳すると「第6回粒子ベース数値解析に関する国際会議/基礎と応用」です。2年に1度、バルセロナとハノーバーで交互開催されてきました。

粒子法解析は古くからある解析手法ですが、高いコンピュータ性能を要求したため、あまり注目されていませんでした。21世紀になって、コンピュータの性能アップとともに注目を浴びています。その粒子ベースの数値解析に関するシミュレーションについての会議です。

前田研究室ではこの「Particles 2019」で4件の発表をしていますが、その1つを杉原さんが「Direct Observation and Simulation of Ladle Pouring Behavior in Die Casting Sleeve」と題して行いました。

大塚哲也さん、平松大河さん (情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻) 卒業制作作品を大同高校へ 寄贈しました

3月2日(月)に情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 横山弥生研究室 4年 大塚哲也さんと平松大河さんが、卒業研究で制作した東濃ひのきを使用した低座椅子を大同大学大同高等学校へ寄贈しました。卒業制作展を見学された大同高校の服部校長が立派な作品であると高く評価したことがきっかけで今回の寄贈につながりました。



▲作品を寄贈した
大塚さん(左)と平松さん(右)

横山研究室では数年前から岐阜県白川町とコラボレーションし、東濃ひのきを使った作品を世に送り出しています。東濃ひのきは年輪幅が細かく均一で芯が円心近く、材質はピンク色で艶があり、香り高い。木目の美しさ、粘りの良さなど数多くの魅力的な特徴を持ち合わせています。座面が東濃ヒノキの一枚板で作られた本作品は市場価格では10万円を下回ることはない高級品となります。またこの作品は公益財団法人日本インテリアデザイナー協会が主催する「JID賞」の中日本エリア学生賞2020にも選ばれています。

原田昌明研究室(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

東京国際プロジェクトマッピングアワード vol.4にて、作品を上映しました

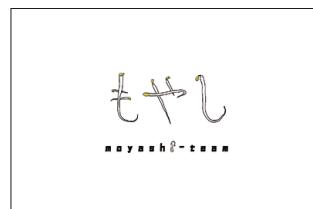
2019年11月16日(土)に東京ビックサイトで開催された「東京国際プロジェクトマッピングアワード vol.4」にて、本学情報デザイン学科の原田昌明研究室の学生を中心としたチームが作品上映を行いました。

本アワードは、将来のコンテンツ産業の中核となる人材の育成と、プロジェクトマッピングという空間映像技術の高度化と普及を目的に設立されました。最終審査となる上映会は、東京ビッグサイトという大きな舞台を通じ、ライブでしか届けられない迫力と感動を体感できる場として一般の方にも開かれたイベントとなっています。本学は2年前のvol.2から毎年、第一次選考を通過しており、今年も最終審査に臨むことができました。

今回は伊藤肇さんを中心とした3年生主体の、チーム「もやし」が「調和」をテーマに映像制作をしました。作品名は「世界染織」。音楽制作も学べる強みを活かして、2DCG、3DCGだけでなく、サウンド、SEについても同学科の小高直樹研究室と連携して制作しました。岡田治弥さん、小森一輝さん、大杉航世さん、稻垣直人さん、石田優輝さん、飯田聖也さん、秀野成明さん、棚橋瞬さん、神野瑞葉さん、大内啓暉さんのチームメンバー全員が、学業と両立しながら少ない時間を工夫して完成にこぎつけました。残念ながら入賞には至りませんでしたが、テーマに応えることに真摯に取組んだ作品について「仕事を頼むなら君たちに頼みたい」と審査員から嬉しいコメントをいただきました。当日は約7,900名の来場者の前で発表することができました。



▲最終審査当日のチーム「もやし」のメンバー



▲チームロゴ



▲作品タイトル

加納善明研究室(電気電子工学科)、
樋口恵一研究室(建築学科 土木・環境専攻)

ラジオ番組で研究室が紹介されました

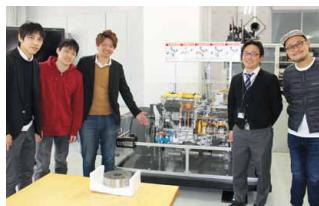
@FMのラジオ番組「C-Tech FUTURE GENERATION」にて、加納研究室、樋口研究室が出演ました。

この番組は、未来に向かって挑戦する大学生=未来世代のリアルボイスをお届けするという内容で毎週木曜日、20:30～21:00でオンエアされています。

2019年12月12日(木)の放送では電気電子工学科 加納研究室の加納善明准教授、高橋龍司さん(修士2年)、西河慎さん(修士2年)、大道竜基さん(学部4年)の4名が、12月19日(木)の放送では建築学科 土木・環境専攻 樋口研究室の樋口恵一講師、廣瀬由亜さん(4年)、広瀬陽介さん(4年)、中村陸さん(4年)の4名が出演し、研究内容や将来の夢などを紹介しました。

「C-Tech FUTURE GENERATION」の詳細は[こちら](https://fma.co.jp/f/prg/future/)から

<https://fma.co.jp/f/prg/future/>



▲収録時の記念撮影。加納研究室(左から)
高橋さん、大道さん、西河さん、加納准教授、
パーソナリティの平野聰さん



▲収録時の記念撮影。樋口研究室(左から)
中村さん、廣瀬さん、廣瀬さん、樋口講師、
パーソナリティの平野聰さん

かおりデザイン専攻

第19回 におい研究交流会を開催しました

2月14日(金)、本学にて、企業、他大学等からも70名の方にご参加いただき、第19回におい研究交流会を開催しました。

かおりデザイン専攻の学生が2019年度に取り組んだ研究成果発表、旅をテーマにして制作したかおりのコンテストを行いました。

今年度は、本学機械工学科の学生とかおりデザイン専攻の学生が共同で取り組んだ研究紹介もありました。

また、特別講演として園田茂代様(フィガロ技研株式会社)に「センサーの歴史について」をご講演いただき、本学山口一教授が「室内空気質に関する研究(私の室内環境の研究)」について講演を行いました。

参加者は興味深そうに発表に聞き入り、ポスター会場では活発な議論が行われました。



▲かおりコンテスト会場の様子



▲ポスター会場の様子

情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 『東京インターナショナル・ギフトショー』 にて、成果発表を行いました

2月5日(水)～7日(金)に東京ビッグサイトで開催された『東京インターナショナル・ギフトショー』にて、本学プロダクトデザイン専攻の学生8名が、名古屋市市民経済局主催ものづくりワークショップ『NAGOYA DESIGN THINK』の成果発表を行いました。県内企業や他大学の学生とともに、4つのテーマに対するアイデア・デザイン創出に取組みました。

参加したのは、伊藤慎也さん、恩田寛隆さん、鶴貝衣穂さん、山崎翼さん(以上3年生)、飯田悠平さん、鶴田崇さん、前田奏さん、三井理央さん(以上2年生)です。

東京に続いて、3月14日(土)には名古屋市の国際センターにて成果発表と作品展示が行われました。

NAGOYA DESIGN THINKのちらしはこちら

https://www.daido-news.jp/daido_news/6ce6baf511468afdadf2bc9b5eb2339187cd9907.pdf



▼東京インターナショナル・ギフトショーの様子



宮島千代美研究室(情報システム学科) あいちITSワールド2019において 研究展示を行いました

2019年11月21日(木)～24日(日)にポートメッセなごやで第21回名古屋モーターショーと同時開催された「あいちITSワールド2019」において、情報システム学科宮島研究室の研究成果を出展しました。

深層学習を用いた車種認識、ドライバの心拍の分析、ドライバの視線の安全性評価、運転行動に基づくドライバのタイプ分類などの研究についてポスター展示を行い、ブースにお越しいただいた多くの方々に研究の成果を紹介しました。

また、初日に開催された「あいち発! ITS学生研究ライブ」において、同研究室に所属する大学院 情報学研究科 修士課程 1年の田中義弘さんがステージ発表を行い、自身の研究や情報システム学科におけるITS関連の研究について紹介をしました。

ITSワールド2019 についてはこちら

<https://aichi-its.jp/itsworld/>



▲ステージ発表を行った田中さん(左)と宮島准教授

前田安郭研究室(機械工学科)

鋳造技術体験セミナー〈第2弾〉に 参加しました

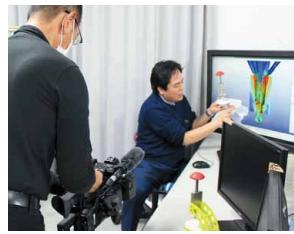
2019年11月4日(月)に愛知県豊田市のアイシン高丘株式会社にて行われた『鋳造技術体験セミナー〈第2弾〉鋳造を「体験」しよう』に機械工学科 前田研究室の学生4名(糸隆千穂さん、佐藤壮さん、丹羽大樹さん、山田啓介さん)が参加しました。生砂での外型造型、中子造型、鋳鉄を注湯し、ミニブロックシリンダの鋳込みを体験しました。



日本铸造工学会東海支部 鋳造技術体験セミナー
2019年 11月 4日 於：アイシン高丘株式会社

▲体験セミナーでの記念撮影

西堀賢司名誉教授、篠原主勲研究室(機械システム工学科) メ～テレ「癒しの存在」に出演しました



▲取材・撮影を受ける篠原准教授(右)

3月4日(水)に本学の西堀賢司名誉教授と機械システム工学科の篠原研究室が、名古屋を中心に東海エリアの「前向きに頑張っている人」に迫るミニ番組、メ～テレ「癒しの存在」の取材を受け、4月10日(金)に放送されました。

西堀名誉教授は、愛知県の伝統工芸品である有松・鳴海絞りの職人の高齢化や後継者難が危ぶまれる中、簡単に絞りの括り作業を行う「絞りロボット」を2013年に開発しました。その研究は現在も共同研究として篠原研究室が引き継いでいます。

写真のモニター画面は、絞りによる布とキャップの応力分布を示します。青色は応力が無い状態を示し、赤色に遷移するに従い、応力が集中する状態を示します。布の破断防止や染料の制御を目的とし、シミュレーション技術(CAE解析技術)を有松鳴海絞りロボット設計開発に役立てています。

番組内では絞りロボット開発の経緯や苦労話、現在も改善のため様々な試みを重ねる篠原研究室での様子が語されました。

かおりデザイン専攻

2019年11月30日発行 「週刊東洋経済」にかおりデザイン専攻の 学びの内容が掲載されました

2019年11月30日(土)

発行「週刊 東洋 経済」

(11/25発売)に本学かおり

デザイン専攻の学びの内容
が掲載されました。

「本当に強い理系大学」

の特集記事内において、

▲11月30日(土)発行 週刊東洋経済
「そこでしか学べないユニーク学問」として、かおりデザイン専攻がとりあげられています。

記事では、かおりデザイン専攻においてかおりの活用法や香料の特性のほか、臭気対策法やにおいの測定方法、におい成分の分析などが学べること、また、卒業生が活躍する分野について紹介されています。



「そこでしか学べないユニーク学問」

（毎週土曜日付）

光田恵教授(建築学科 かおりデザイン専攻)

シンポジウム「建築空間における快適性と知的生産性 ～学びの空間における学習効率の向上を目指して～」にて講演しました

2019年11月8日(金)にヴィアーレ大阪で、(一社)日本建築学会近畿支部 空気環境部会が主催するシンポジウム「建築空間における快適性と知的生産性～学びの空間における学習効率の向上を目指して～」が開催されました。シンポジウムでは、学校建築などを対象として、教室内環境の快適性と学習効率に焦点を当て、教室内環境のあり方、自然エネルギーを利用したパッシブな制御手法などに関する学術・技術の最前線について、各分野の第一線の研究者が解説を行うとともに、今後の技術展開についての展望を講演しました。

した。光田教授は、「第2部 学校建築と環境制御技術」にて、「においとかおり」と題して講演、またディスカッションでは今後の技術展開についての展望を語りました。授業や食事が同じ空間(教室)で行われる学校における「におい・かおりの制御」について考えるための基礎資料として、改定された日本建築学会臭気規準や年齢別の嗅覚特性、食の「おいしさ」には環境中のにおい・かおりも深く関わっていることなどを紹介しました。

光田恵教授、棚村壽三准教授(建築学科 かおりデザイン専攻)

「匂い制御装置および匂い制御方法」 が特許登録されました

- 1.特許番号:特許第6554927号
- 2.登録日:令和1年7月19日(出願日:平成27年6月11日)
- 3.特許タイトル:匂い制御装置および匂い制御方法
- 4.特許概要:心身に対する匂いの作用を、より効果的に発揮できる匂い制御装置と制御方法を考案しました。
- 5.発明者:光田恵、棚村壽三 他

徳納一成教授(機械工学科)

株式会社スガテックにおいて 特別講演しました

機械工学科の徳納教授が、本学の卒業生を多く採用していたいいいる鉄鋼原料プロセス会社である株式会社スガテックより特別講演の依頼を受け、2019年11月20日(水)に開催された



「第39回ステップアップ活動
全社大会」において、鉄鋼メーカー社員時代の経験や思い出について特別講演しました。

◀徳納教授(中央)による特別講演の様子

佐藤壮一郎教授(総合情報学科スポーツ情報コース)
知多市体育協会のスポーツ研修会で講師を務めました



2019年11月21日(木)に知多市体育協会が主催するスポーツ研修会にて、本学スポーツ情報コースの佐藤教授が講師を務めました。

知多市内のスポーツ指導者、指導者を目指す方、ジュニアスポーツ教室の保護者等を対象に行われた研修会は、「JOCナショナルコーチアカデミーを受講して～スポーツの価値を高めましょう!」と題し、即興のゲームを交えるなど、終始和やかな雰囲気で行われました。

渡邊慎一教授(建築学科)

人間-生活環境系学会 論文賞を受賞しました

建築学科の渡邊教授が人間-生活環境系学会 論文賞を受賞しました。

受賞対象論文は「Measurement Method for the Solar Absorptance of a Standing Clothed Human Body」(渡邊慎一・石井仁の連名)です。

この論文は、屋外における暑さ寒さを評価する際に必要となる着衣人体の日射吸収率を定量化するための新たな測定手法を提案したものです。

この研究により、被験者が立位姿勢の状態で日射吸収率を測定することが可能となり、従来の測定法よりも簡易に定量化できることが高く評価されました。2019年11月30日(土)、12月1日(日)に釧路で開催された第43回 人間-生活環境系学会シンポジウムにおいて、授賞式が執り行われました。



▲論文賞表彰式
(左から、石井仁名城大学教授、
松原斎樹学会長、渡邊慎一教授)



▲賞状と盾

上田浩次教授(情報システム学科)

計測自動制御学会で 論文賞を受賞しました

本学情報システム学科の上田教授が、2018年3月に計測自動制御学会論文集に掲載された論文「準ミリ波を利用した路面上の水と氷の判別方法」にて「論文賞」を受賞しました。



▲受賞した上田教授

論文賞は、計測自動制御学会が関与する科学技術の分野において、学問技術の発展に寄与するところの大きい論文の著書に対し贈呈されるものです。その贈呈式が2019年9月12日(木)に広島大学東千田未来創生センターで開催されました。

この論文は、通常では見分けがつけにくい車両の走行路面上の水膜と氷膜の違いを電波式センサを利用して判別する方法を提案し、実験室レベルでの有効性を確認しています。このようなセンシング結果がドライバーへ情報提供されることで走行上の危険状態が認知され、安全運転支援向上、社会貢献へつながります。

上岡和弘教授(情報デザイン学科)

春日井商工会議所 商人塾で講師を務めました

春日井市商工会議所では、『まちの担い手養成塾事業～個店の繁栄と人を巻き込むリーダーシップと商店街コミュニティネットワークづくり～』を行っています。

2019年12月12日(木)の第7回研修会では、情報デザイン学科の上岡教授が講義を行いました。

講義テーマは、「クリエイティブで地域の課題と向き合う」で、上岡教授が広告会社勤務時に携わった「原宿や秋葉原などの街と企業とのコラボや、地域のローカルコンテンツ広報企画」などの紹介と、現在名古屋市南区と共同で取り組んでいる「独居しがちな高齢者支援策」を題材に、春日井商店街の方々へアクションプラン策定に向けたヒントを話しました。



▲講義の様子

棚村壽三准教授(建築学科 かおりデザイン専攻)

テレビ朝日「林修の今でしょ！講座」に出演しました

2019年12月10日（火）、テレビ朝日「林修の今でしょ！講座」(火曜19:00～放送)にかおりデザイン専攻の棚村壽三准教授が出演しました。

3時間3本立てスペシャル企画の1つとして「キッチン・加齢臭・トイレ・衣類の生乾き…あなたの家庭は大丈夫？気になるニオイの正体を科学的に大解明SP！」と題したコーナーで、におい・かおりの分野の講師として出演し、家庭で身近な4つの気になるにおいが発生する仕組みとその対策を解説しました。

放送内容の詳細はこちら

<https://www.tv-asahi.co.jp/imadesho/osarai/0028/>



澤岡昭名誉学長

名古屋市南区生涯学習センターで地域貢献講座が開催されました

2019年10月31日(木)、名古屋市南区生涯学習センターで地域貢献講座(6回シリーズ/講師 澤岡昭名誉学長)が、スタートしました。

第1回目となる今回は、「口ケットのはなし」というテーマのもと「技術改革」を軸に、開発の歴史、GPS技術など民生利用、更に昨今のシビアな話題である各国の偵察衛星競争と多方面にわたり、

講演されました。

澤岡名誉学長の経験を交えた話題に誘発されたようで、フランクな質問が飛び交い、和やかな雰囲気で進行されていました。



▲講演の様子

澤岡昭名誉教授

テレビ朝日「報道ステーション」に出演し、解説しました

2019年12月12日(木)、

テレビ朝日「報道ステーション」(月～金 21:54～)

にて、アメリカのボーイング

社が開発している新型宇宙

船「スターライナー」のシミュ

レーターなどが公開されたことを伝えるニュースの中で、本学の澤岡名誉学長が出演し、解説しました。



スターライナーは国際宇宙ステーション(ISS)との間を往復する21世紀の宇宙カプセル。最大7名の乗客、または乗組員と貨物を混載して輸送します。

澤岡名誉学長はスペースシャトルから進化した点について、パイロットの操作性が良くなったり、機体に着陸時の衝撃を和らげるクッションが入っており10回程度繰り返し使えること、コストが下がり宇宙旅行が身近になる点を挙げました。

坪井涼准教授(機械工学科)

第3回チェコ・日本トライボロジーワークショップにて招待講演を行いました

2019年10月27日(日)～30日(水)にチェコ共和国のフナニツェで行われた「3rd Czech-Japan Tribology Workshop」にて、機械工学科の坪井准教授が招待講演を行いました。

チェコ・日本トライボロジーワークショップは2014年に設立されました。第1回目のワークショップはチェコ共和国のミクロフで、2回目が日本の高松市で開催され、今回が3回目の開催となります。

坪井准教授の今回の講演内容は以下の通りです。

講演タイトル:EHL simulation on textured surface with using finite element method for elastic deformation

3rd Czech-Japan Tribology

Workshopのサイトはこちらから

<http://czech-japan2019.cz/>



高田健教授(機械工学科)

国際学会で招待講演を行いました

2019年12月15日(日)～17日(火)にインドのアフマダーバード市で開催された、国際学会FiMPART(Frontiers in Material, Processing, Applications, Research and Technology)のLight alloyセッションにて、本学機械工学科の高田教授が招待講演を行いました。講演タイトルは“Effect of dislocations in Al-Mg-Si alloys on electrical resistivity during deformation”です。

発表内容は本学にて開発した引張試験・電気抵抗率の同時測定手法での合金の変形挙動についてです。

なお、本学会は2年に1回開催され、1回目はハイデラバード(インド)、2回目はボルドー(フランス)、今回は3回目となります。

小島一宏准教授

鈴木敏夫さんとのトークが、 Tokyo FM系で全国放送されました!

以前にお伝えしたように、2019年9月に金城学院大学でスタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーのトークショーが行われ、本学の小島准教授が聞き手を務めました。

その模様が、Tokyo FM系『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ』で2019年12月22日(日)23:00～23:30に全国放送されました。(東海地区では「@FM (80.7MHz)」で放送)

ジブリがこれまで“女性”をどのように捉え、作品で描いてきたか。高畑勲監督と宮崎駿監督が描く“女性像”はどう違うか。これから時代を生きる“女性”たちに、どんなメッセージを送り出すか...。『スタジオジブリの作品が伝える女性へのメッセージ』と題されたトークショーでは、とても興味深い話が次々と飛び出しました。

TOKYO FM「鈴木敏夫のジブリ汗まみれ」番組HPはこちら

<https://www.tfm.co.jp/asemamire/>

トークショーをお伝えしたニュースはこちら

https://www.daido-news.jp/daido_news/teacher/post-270.html



▲トークショーを行った
鈴木敏夫さん(右)と
小島准教授



光田恵教授(建築学科かおりデザイン専攻)

NHK「まるっと！」で雪のにおいについてコメントしました

1月22日(水)に放送されたNHK「まるっと！」(毎週月曜～金曜18:10～放送)の「まるっと調べ隊」のコーナーにて、視聴者からの「雪においはあるの？」という質問に対し、光田教授が番組から取材を受け、コメントしました。雪のにおいは雨のにおいと同じと考えられ、ほこりっぽい、かび臭いにおいがします。地上で跳ね返る雨粒の泡の中に含まれる土壌細菌がそのにおいの正体であることを解説しました。



小島一宏准教授(情報デザイン学科)

「第41回ヨコハマ映画祭」の司会を務めました

2月2日(日)に、横浜市の関内ホールで「第41回ヨコハマ映画祭」が開催され、その個人賞表彰式の司会を今年も本学情報デザイン学科の小島一宏准教授が務めました。

小島准教授は、東海ラジオで以前放送されていた邦画情報番組のパーソナリティ時代に、ヨコハマ映画祭の取材に何度か出掛けました。その縁で、第36回から表彰式の司会を任され、毎年そのステージに立っています。表彰式では、各賞に輝いた映画監督をはじめスタッフの方々、そしてキャスト(俳優)の皆さん全員にインタビューをして、受賞の喜びや撮影秘話などを聞き出す重要な役どころを担っています。今年も「蜜蜂と遠雷」の石川慶監督や「半世界」の阪本順治監督、池松壮亮さんに小松菜奈さん、成田凌さんら豪華な顔ぶれの皆さんに次々とインタビューし、映画祭を大いに盛り上げました。

澤岡昭名誉学長

2/2(日)読売新聞でアメリカの有人宇宙飛行再開についてのコメントが掲載されました

2月2日(日)付の読売新聞の、民間のスペースX社が実用化をめざす有人宇宙船「ドラゴン」が無人状態での安全試験に成功したこと、約9年ぶりのアメリカによる有人宇宙飛行の再開が目前に迫っていることを伝える記事内に、澤岡名誉学長のコメントが掲載されました。

アメリカは、①2011年のスペースシャトル退役後の国際宇宙ステーション(ISS)への宇宙飛行士の輸送をライバル国・ロシアに頼っており、多額の税金を投入している現状を変えたいこと、②ISSの民間利用を進め運営費用を圧縮することで、予算や人材を有人月探査に移したいという思惑があること、から有人宇宙飛行の再開は「悲願」となっていました。

澤岡名誉学長は記事の中で「アメリカの底力を実感させられる。アメリカが有人飛行に復帰すれば、あるべき本来の姿に戻る。宇宙開発の国際的な盟主として、大手を振って大型の有人計画に積極的に乗り出すようになるだろう」とコメントしました。

▲2月2日(日)付 読売新聞

白石裕之教授(機械工学科)

JAXA宇宙科学研究所本部で招待講演を行いました



▲講演の様子

1月16日(木)、17日(金)の両日に、JAXA宇宙科学研究所本部で開催された宇宙輸送シンポジウムにおいて、本学機械工学科の白石教授が題目「LSD-LSC遷移で起きていること」の招待講演を行いました。当該物理現象は、レーザーをエネルギー源とした宇宙エンジンには不可欠のものであり、長年の研究成果に基づいて発表がされました。



第41回 ヨコハマ映画祭

映画ファンのための熱いまつり

ヨコハマ映画祭は、毎年2月の第1日曜日に開催されることが決まっています。しかし、その直前

の1月31日(金)が小島ゼミ生たちの卒業研究報告書などの提出期限で、本当は映画祭でのインテビューや準備を少しでも進めたいところですが、1月後半はほぼ卒業研究の指導に掛かり切りになってしまふそうです。今年も最後の最後まで熱心?なゼミ生たちのおかげで、映画祭の準備は困難を極めたものの、なんとか大役を無事に果たせてホッとしたと小島准教授。皆さんも、来年はヨコハマ映画祭に出掛けください。

ヨコハマ映画祭について詳しくはこちら

<http://yokohama-eigasai.o.oo7.jp/>



船橋仁奈准教授(建築学科)

「日本空間デザイン賞2019展」にて受賞作品が展示されました

建築専攻・インテリア
デザイン専攻の船橋仁奈准教授が設計・監理を行った『パサージュのある事務所の改修』が、日本空間デザイン賞・銀賞を受賞し、2月4日(火)～16日(日)まで『日本空間デザイン賞2019展』にて展示されました。



▲日本空間デザイン賞銀賞を受賞した作品

日本空間デザイン賞 KUKAN DESIGN AWARD / SPATIAL DESIGN INITIATIVE JAPANは、多様化する空間デザインの将来を包括的に顕彰するために創設され、2月には2019年度の受賞作品を一堂に会する展覧会が開催されました。

なお、2019年12月に発行された『年鑑日本の空間デザイン2020(六曜社)』にも受賞作品が掲載されています。

『日本空間デザイン賞2019展』

<https://www.g-mark.org/gdm/exhibition70.html>

『年鑑日本の空間デザイン2020(六曜社)』

<https://www.rikuyosha.co.jp/products/detail4554/>



船橋仁奈准教授(建築学科)

2019年度グッドデザイン賞受賞展にて受賞作品が展示されました

建築専攻・インテリアデザイン専攻の船橋仁奈准教授が設計・監理を行った『パサージュのある事務所の改修』が、グッドデザイン賞2019を受賞し、2019年10月31日(木)～11月4日(月)まで、東京ミッドタウンで開催された2019年度グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」にて受賞作品が展示されました。

本展覧会は、2019年を象徴するような受賞デザインの数々を総覧できる受賞展となっており、グッドデザイン賞60年以上のこれまでの歴史を振り返りつつ、最新のデザイン1,000件以上が一堂に会する機会となりました。※会期中の総来場者数は、のべ248,697名(日本デザイン振興会調べ)

なお、4月に発行される『受賞年鑑 GOOD DESIGN AWARD 2019(日本デザイン振興会)』にも受賞作品が掲載予定です。その他韓国とイタリアの専門誌にも本作品が掲載されています。

2019年度グッドデザイン賞受賞展

「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」

<http://archive.g-mark.org/gde/2019/index.html>

「MINI BUILDING 9(A&C Publishing)」韓国

<http://www.ancbook.com/en>

「ABITARE 2019年12月号(ABITARE)」イタリア

<http://www.abitare.it/en/current-issue/>

2019/11/28/abitare-590-newsstand



堀尾吉巳教授(電気電子工学科)

(公財)科学技術交流財団 第6回「ポストグラフェン材料のデバイス開発研究会」で招待講演を行いました

近年、ポストグラフェン材料は、グラフェンを超えるユニークな物性の期待と共に大変注目されています。特に、重い元素からなるポストグラフェン材料は、スピントロニクスへの応用に大変注目が集まっています。本研究会は、次世代デバイスの実現を目指す専門家とポストグラフェン材料開発の専門家が一同を会し、情報交換、人的交流を活発に行い、世界をリードする一大研究開発拠点の形成を目指すもので、今回「RHEED波動場」という題目で本学電気電子工学科 堀尾教授が招待講演を行いました。

川福基裕教授(電気電子工学科)

エンジニアのためのキャリア応援マガジン「fabcross forエンジニア」に紹介記事が掲載されました

株式会社メイテックが運営する、エンジニアのためのキャリア応援マガジン「fabcross forエンジニア」に本学電気電子工学科 川福基裕教授の研究が紹介されました。



▲取材を受けた川福教授

「誰でも安全に運転できる自動車制御技術の実現に向けて」と題され、ラジコンカーで「雪道を初心者でも安全に走れる車」の開発を目指す内容が紹介されています。

当該記事はこちら

https://engineer.fabcross.jp/archieve/200128_zero-vibration.html



光田恵教授(建築学科かおりデザイン専攻)

地域連携講座で講演しました

1月18日(土)に本学かおりデザイン専攻の光田教授が、地域連携講座「おおぶアカデミー」で「くらしの中のにおい・かおり」をテーマに講演しました。

内容は、①においを感じるとは? ②住まいのにおい対策とは? ③調香(かおりを作る)とは? をサブテーマに、「においのしくみと消・脱臭対策法」を実験・実習を通して紹介しました。

講座終了後の参加者からは、「実験でにおいの知識の奥深さと面白さを体験できた。」、「今まで何気なく感じていたことが、今日の講座で知ることができた。」、「においの嗅ぎ分けが迷った。」「建築の分野ににおいのことまで加わり、仕事の大変さを痛感した。」などの声が寄せられました。



〈おおぶアカデミー〉

1.主催:大府市教育委員会

2.日時:1月18日(土)

3.会場:大府市立吉田公民館

4.講演者:光田 恵教授

5.テーマ:「くらしの中のにおい・かおり」

6.主な話題:①においを感じるメカニズムと役割 ②においの強さの判別実験

③においの濃度と強さ感覚の関係 ④住まいの中での消・脱臭対策

⑤揮発性に基づくかおりの構成(調香)

ケーブルテレビの番組に大同大学が取りあげられました

豊田市・みよし市・長久手市のケーブルテレビ局「ひまわりネットワーク」の大学生情報発信番組「ダイガクモン!」で大同大学が取りあげられました。

この番組は、東海地方の大学にタレントの「おかまのKENちゃん」が潜入し、どんな大学か、通う大学生はどんな学生かなど、徹底取材するものです。

前編はこちらからご覧ください。

<https://youtu.be/0VXstlqvkZQ>

後編はこちらからご覧ください。

<https://youtu.be/WHcZp2gk508>

「ダイガクモン!」の詳細はこちらから

<https://www.himawari.co.jp/daigakumon/>



レゴランド・ジャパンのWEBムービー制作の記事が 萤雪時代1月号に掲載されました



▲実際に掲載された記事

2019年10月8日(火)に本学HPにて公開した情報デザイン学科 杉本研究室の学生と、同じく情報デザイン学科メディアデザイン専攻の「セミナ1」を受講している3年生の混成チームによるレゴランド・ジャパンのWEBムービー制作のニュースが、この度、「萤雪時代1月号」に取り上げられました。

10月の記事はこちら↓

https://www.daido-news.jp/daido_news/notice/web-1.html



建築学科 土木・環境専攻

白水キャンパスで作品展示を行いました

1月22日(水)～29日(水)、白水キャンパスの4号館4102教室にて、土木・環境専攻の1～3年生が後期の授業で制作した作品を展示しました。

展示されていたのは、1年次『ランドスケープ設計』、2年次『CAD演習2』、3年次『都市開発プラン実習』の授業で制作された作品です。1年次から3年次までの学びの課程を垣間見ることができる、他学科・専攻の学生にとても興味深いものとなりました。



▲展示会の様子

第2回学内自動販売機オリジナルラッピングデザインコンペ結果発表!

2019年9月～2020年1月の期間で学生室にて学内の自動販売機のオリジナルラッピングデザイン案を募集したところ、40点を超える個性的な応募作品が集まり、その中から17作品が採用されました! 新しいデザインの自動販売機は、2020年4月から学内17箇所に設置されています。デザインは、大同大学らしさ・大同大学のイメージがあり、多くの人に親しみや愛着を持ってもらえるようなものとなっています。

自動販売機オリジナルラッピングデザイン一覧詳細はこちら



オリジナルラッピングデザイン 17作品採用!

2019年9月～2020年1月の期間で学内の自動販売機のオリジナルラッピングデザイン案を募集したところ、40点を超える個性的な応募作品が集まりました。その中から、以下の17作品が採用されました! 新しいデザインの自動販売機は2020年4月からお披露目となります。

デザインは、大同大学らしさ・大同大学のイメージがあり、多くの人に親しみや愛着を持ってもらえるようなものとなっています。



学生満足度調査プロジェクトチーム、八田忠入試・広報室員理事長賞を受賞しました!



▲受賞した学生満足度調査プロジェクトチームの面々

大同大学事務職員で構成された「学生満足度調査プロジェクトチーム」と入試・広報室の八田忠さんが「わたしの提案」において、理事長賞を受賞しました。「わたしの提案」は事務職員が日常業務のなかで発明考案・業務改善をすすめ、その業績が顕著であると認められた提案が表彰されるものです。

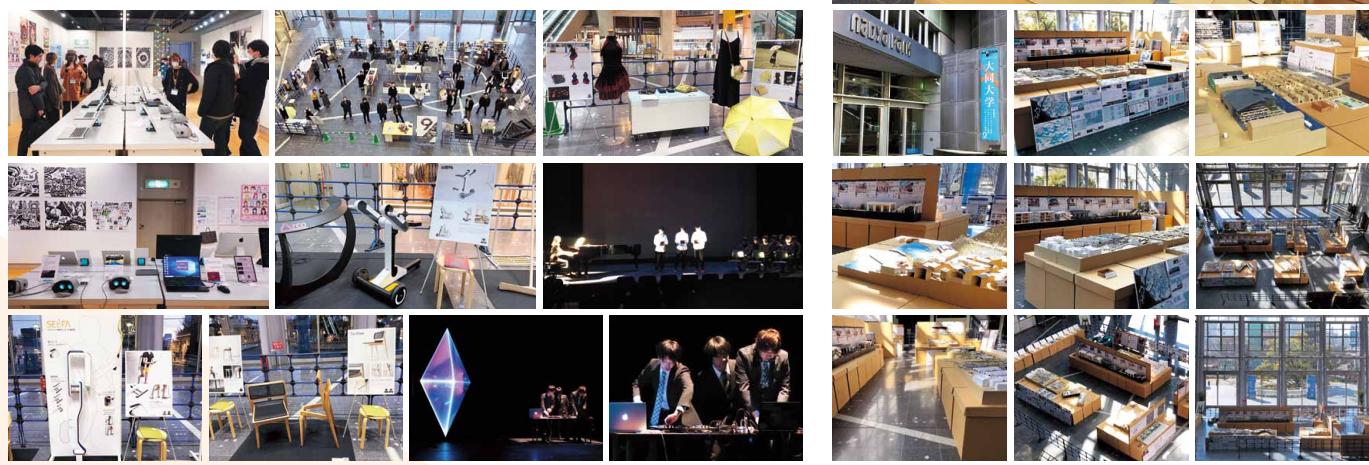
学生満足度調査プロジェクトチームは学生に対するサービスの質向上をめざした「大学魅力化アンケート」を行う目的で、事務職員の有志で結成されました。アンケートは在学生への事務サポートや施設・設備など多岐にわたります。改善提案をともなうこの取り組みが評価され、受賞に至りました。

また八田忠さんは教務室在籍時に、各授業で使われる教科書(授業の担当教員がそれぞれ指定、合わせれば膨大な数になる)を取りまとめる作業をオンライン化し、業務負担と発注ミスなどを低減させたことが評価され、受賞に至りました。おめでとうございます。

建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻/プロダクトデザイン専攻

X4デザイン専攻リレー展示を開催しました

「X4デザイン専攻リレー展示」とは、大同大学の建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻、情報デザイン学科 メディアデザイン専攻/プロダクトデザイン専攻の4つの専攻からなるリレー展示です。卒業制作作品から選抜された学生作品や、リレー展示のために学生たちが4年間の集大成として取り組んだ作品が各所で発表されました。



新任教員紹介



黒田 尚哉 教授
情報学部 総合情報学科 併任 工学部 建築学科

みなさま、初めまして。黒田(さつた)と申します。岩手県の盛岡市から着任いたしましたが、生まれてから高校まで浜松市で過ごしており、久しぶりに東海地方に戻ってきた気持ちがしております。大同大学の学生教育と研究に微力を尽くしたいと思います。



喜田 健司 講師
情報学部 情報システム学科

はじめまして、喜田です。大同大学は桜や桃、チューリップなど花が多くて気持ちのいい環境ですね、時折聞こえてくる汽笛も素敵です。音や通信に興味があり研究しています。皆様と協力して学生への教育、さらには学園の発展に尽力して参ります、よろしくお願ひいたします。

新刊紹介

専門図書 「次世代パワー半導体の熱設計と実装技術」の一部を執筆しました

山田靖教授(電気電子工学科)

1月31日(金)にシーエムシー出版から発行された専門図書「次世代パワー半導体の熱設計と実装技術」で、一部の執筆を山田教授が担当しました。

本書はSiCやGaNパワーデバイスの実用化に向けた書籍で、実装技術の現状と展望から始まり、はんだや樹脂材料などの実装技術と、熱評価や冷却などの熱設計技術について記載されています。山田教授は、第1章3節の「パワー半導体実装用接合技術の開発動向と特性評価」を担当しました。

出版社のサイトはこちらからご覧になれます
http://www.cmcbooks.co.jp/products/detail.php?product_id=5774



発行日:2020年1月31日
頁数:304頁
発行所:シーエムシー出版
ISBN:978-4-7813-1436-5

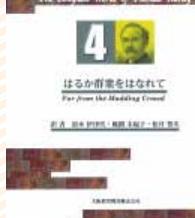
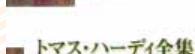


トマス・ハーディ全集:4巻 『はるか群衆をはなれて』の翻訳をしました

松井豊次教授(教養部 外国語教室)

19世紀末イギリスの文壇を代表する文豪トマス・ハーディの出世作 *Far from the Madding Crowd* (1874) の翻訳を本学教養部松井教授が担当し、発刊されました。若い世代の人たちにも楽しんでもらえるような、できるだけ読みやすい訳がこころがけられています。また、詳しい注を付け、研究者の皆さんの参考に供するための工夫もされています。人里離れた小宇宙のような亜空間、イギリス南部ウェセックスの牧羊地で繰り広げられる人間ドラマに触れたとき、読む人は必ずや驚きと感動の渦に巻き込まれるでしょう。是非ご一読ください。(松井教授の担当は第11章～第30章となります)

著者:清水伊津代、風間未起子、松井豊次
出版社:大阪教育図書
発行年月:2020年3月 サイズ:A5判
ISBNコード:978-4-271-31011-2
価格:7,000円(税別)



卒業生・修了生への学長メッセージ

学部卒業のみなさん、大学院修了のみなさん、卒業おめでとうございます。卒業の喜びは、みなさんの努力の賜物であるだけでなく、保護者の皆様はじめ、周囲の方々のあたたかい支援があつてこそと、敬意を表し、関係の皆様に、心からのお祝いを申し上げます。大同大学はみなさん新卒業生を加えて、30,848名の卒業生を送り出したことになります。今回は、「令和」の最初の年の卒業生となります。新型コロナウイルス感染症の拡大のため学位記授与式を行う事ができず大変残念に思っております。しかし、今までの卒業生は、中部を中心に全国各地で活躍しています。皆さんも「大同大学の卒業生」として社会や大学院で活躍することを期待しております。

卒業という節目は、次のステップへのスタートでもあります。特に大学、大学院を卒業して社会に出て行く皆さんには、今までとは違った環境の社会の荒波への重要なスタートとなります。今まで築いてきた財産を使ってどのように羽ばたくか、皆さん次第です。さらに、学びは一生続くものです。卒業すれば勉強は終わりではなく、今まで蓄積した知識を実際に役立たせるために、何度も見直し、自分にとって実りのある知識にして下さい。分からぬことがあります、いつでも、大同大学の先生がたに助言を求めて下さい。大同大学は、いつまでも皆さんを応援しています。これから、さらなる情報社会の進展にともない、AI、IoTなどが飛躍的に進化し、Society 5.0と言われる超スマート社会が到来すると予想されています。大学自身も、18歳人口の減少や、入試改革などに対応して行かななければなりません。まさに社会は劇的に変化します。

ここで、大同大学の歴史を振り返ってみましょう。五十六年前、第2次世界大戦後の復興期に大同製鋼、中部電力、名鉄など中部産業界の要請を

なお、例年、学位記授与式にて発表・表彰される学長賞受賞者は以下のとおりです。

学長賞(学業)

学科・専攻	氏名	指導教員
機械工学科	尾関 大輝	神崎 隆男
機械工学科	近藤 日向	坪井 潤
総合機械工学科	白井 売	井原 穎貴
総合機械工学科	橋本 直樹	小里 泰章
電気電子工学科	向瀬 晃正	堀尾 吉巳
電気電子工学科	福山 聖太	植田 俊明
建築専攻	永井 勇樹	武藤 隆
インテリアデザイン専攻	中根 葵月	船橋 仁奈

学科・専攻	氏名	指導教員
土木・環境専攻	中村 陸	樋口 恵一
コンピュータサイエンス専攻	大高、聖也	横手 裕治
情報ネットワーク専攻	林 奏海	朝倉 宏一
メディアデザイン専攻	伊藤 健汰	杉本 幸雄
プロダクトデザイン専攻	奥村 友美	岡田 心
経営情報専攻	戸島 真之	西崎 雅仁
かおりデザイン専攻	加藤 有香里	光田 恵

学長賞(課外活動)

所属クラブ	氏名	顧問等
フィギュアスケート部	中川 真佑	横山 弥生
バレーボール部	備 一真	山田 雄太
男子ハンドボール部	千葉 亮輔	佐藤 壮一郎
女子ハンドボール部	西尾 麻佑	齊藤 慎太郎
男子ハンドボール部	早船 優	佐藤 壮一郎

学長賞(研究活動)

学科・専攻	氏名	指導教員
建築専攻	常盤 亮介	武藤 隆
学長賞(大学院)		
専攻	氏名	指導教員
機械工学専攻	佐古尾 清大	西脇 武志
機械工学専攻	岡村 貴	吉田 昌史
電気・電子工学専攻	高橋 龍司	加納 善明
建築学専攻	奈木 仁志	米澤 隆

大学院 工学研究科 機械工学専攻(機械工学コース)、機械工学科 2019年度学会表彰授与を実施しました

大学院 工学研究科 機械工学専攻(機械工学コース)並びに機械工学科では、2020年3月19日(木)に、各学会の表彰状授与を実施しました。

受賞者は右記のとおりです。

人 事

人事

●退任(2020.3.31)

徳納 一成(大同大学 副学長)

●就任(2020.4.1)

神保 睦子(大同大学 学長)

横山 弥生(大同大学 副学長)

渡邊 慎一(大同大学 副学長)

棚橋 秀行(大同大学 副学長)

●退職

[法人本部・大学]

<教育職員>(2020.3.31)

高木 基充(情報学部 情報アザイン学科 教授)

山口 一(情報学部 総合情報学科 教授
併任 工学部 建築学科 教授)

梅田 礼子(教養部 准教授)

柴田 慎一(情報学部 情報システム学科 講師)

村上 理(情報学部 総合情報学科 講師)

井上 孝司(工学部 機械工学科 特任教員)

森脇 克巳(工学部 機械工学科 特任教員)

佐藤 秀樹(情報学部 情報システム学科 特任教員)

横井 健二(情報学部 情報デザイン学科 特任教員)

酒井 陽一(教養部 特任教員)

<事務職員>(2020.3.31)

亀井 正隆(総務部 管財室長)

丸山 義彦(企画調整部 情報室)

●採用

[法人本部・大学]

<教育職員>(2020.4.1)

渕田 尚哉(情報学部 総合情報学科 教授
併任 工学部 建築学科 教授)

喜田 健司(情報学部 情報システム学科 講師)

池田 洋一(工学部 機械工学科 特任教員
(任期:2020.4.1~2021.3.31))

大石 弥幸(情報学部 情報システム学科 特任教員
(任期:2020.4.1~2021.3.31))

岡本 主熟(工学部 機械システム工学科 教授
篠原 仁志(工学部 機械システム工学科 教授
(任期:2020.4.1~2021.3.31)))

二村 俊英(教養部 教授)

岡本 洋輔(工学部 建築学科 准教授
(任期:2020.4.1~2021.3.31))

大学院 工学研究科 機械工学専攻(機械工学コース)

学会・賞名	氏名	指導教員
日本機械学会 三浦賞	山腰 浩平	徳納 一成
日本設計工学会 武藤栄次賞	川元 信国	西脇 武志
自動車技術会 大学院奨励賞	井俣 竜士	高田 健
日本铸造学会 研究奨励賞	谷口 真伍 新井田 篤 吉田 信吾	前田 安郭

工学部 機械工学科

学会・賞名	氏名	指導教員
日本機械学会 畠山賞	松岡 尚也	坪井 潤
日本機械学会 畠山賞	土田 真之介	徳納 一成
日本設計工学会 武藤賞	添田 翼	萩野 将広
日本铸造学会 研究奨励賞	森岡 弘成	前田 安郭

